

## プラスチック類分別収集開始に伴うごみ減量説明会における質疑応答（概要）

1. 会 場：①平山李重ふれあい館 ②日野市役所505会議室
2. 日 時：平成30年8月4日（土）①10時～11時30分②15時～16時30分
3. 出席者：① 4名 ②14名

### 4. 質疑応答の概要

※わかりやすくするため、当日回答した内容に補足しています。

#### 【プラスチック資源化施設に関すること】

Q1：プラスチック類は破袋機をつけて風力選別をするとの説明があったが、詳しい内容を教えてほしい。

A1：収集したプラスチックを入れた袋を破袋機で破り風力で軽いものと重いものを選別します。軽いものは主にプラスチック製容器包装で、重いものは主に製品プラスチックに選別されます。

その後、手選別ラインにおいて、プラスチック製容器包装と製品プラスチック、資源化できないものを選別します。選別したプラスチック製容器包装は資源化施設へ運搬するために梱包し、製品プラスチックは資源化するため細かく破碎して運搬します。

Q2：手選別で資源化できないプラスチックと記載されているものは何か。

A2：プラスチック製容器包装などで汚れがついたままのものが混入されていると製品のランクが下がり、引き取り停止となる場合があります。そのため、汚れがついたプラスチックが混入されている場合は、可燃ごみとして焼却処理を行います。可燃ごみの減量のために、市民の皆様には軽く洗って排出していただくことを周知してまいります。

Q3：平成32年4月から本格稼働との説明があったが、平成32年1月からの分別開始と何が違うのか。

A3：現在建設中のプラスチック類資源化施設は平成32年1月から試運転します。施設の性能等を確認するための試運転を行うには、分別されたプラスチック類が必要となります。したがって、市民の皆様には平成32年1月からプラスチック類の分別排出をお願いすることになります。3か月間の試運転・性能試験を実施し、施設が本格的に稼働するのは平成32年4月からとなりますが、1月からプラスチック類の分別収集を開始し、4月からの本格稼働になっても分別方法などが変更になることはありません。

### 【プラスチックの分別に関すること】

Q 4：今回のプラスチック分別は容器包装だけでなく、製品プラスチックも一緒に回収することは本当に良かったと思っている。現在プラスチック回収をしている市町村の大半はプラスチック製容器包装しか回収をしていない。

プラスチック製容器包装はプラマークを頼りに分別しなければならず悩ましいという話を聞くことから、プラスチックすべての回収は資源化率の向上にもつながると思う。具体的に製品プラスチックを収集している自治体は何市あるか。

A 4：現在確認している情報では小金井市・昭島市・羽村市・国立市・青梅市が実施しています。

### 【プラスチック分別収集に関すること】

Q 5：現在4週に1回収しているトレー類（底一文字のプラ容器含む）もプラスチックとして回収するのか。

A 5：その通りです。

Q 6：平成32年1月から回収するという説明と平成32年4月から施設の本格稼働という説明があったが、市民として具体的にいつから分別するようになるのか

A 6：市民の皆様には、平成32年1月からプラスチックを分別して排出をしていただくようになります。

### 【プラスチックの指定収集袋（有料・無料）に関すること】

Q 7-①：リサイクルという考え方から、きちんと分別して出しましょうとするので有料とすれば住民も仕方なくやると考えておられるかもしれないが、リサイクルであれば有料が前提とするのではなく、きちんと考えてほしい。有料にする中で、市政自体が市民を含めた緊張感がでるとは思うが、リサイクルという中で考えてほしい。

Q 7-②：プラスチック類の袋の有料か無料について検討中となっているが、有料となった場合、これまで無料だったトレーも有料化することになる。資源化できるものは今まで無料で収集してきたことから、プラスチック類も有料にしないで無料にしてもらいたい。

Q 7-③：プラスチックを有料とすることは排出量を抑制する効果が高いと思っている。

Q 7-④：有料化したほうが良いと思っている。トレーは無料が有料になるとの話も出たが、今まで不燃ごみとして出していたことを考えれば負担は変わらないのではないかと思う。

有料化のメリットは、プラスチックの資源化といっても、これはごみなので減らす必要がある。プラスチックを減らすためには発生抑制としてレジ袋をもらわない、パッケージされたものは買わないなど市民として考える必要がある。また、有料化になることで容器包装お返し大作戦でスーパーに返す割合も高まるのではないかと考える。ごみ袋やレジ袋の有料化は効果があることは明らかである。

Q7-⑤：広域化を進めていくのであれば、環境は悪くなるし、ゴミ袋は今でも都内で一番高い料金だし、さらに新しいゴミ袋が増えてこれまで無料だったトレーなども有料になるのであれば、市民にとって何がプラスになるのか？プラスチックを分別することは大賛成ではあるが、袋は有料にしないで無料にしてほしい。それぐらい一つはいいことがあってもいいのではないか。

A7：有料・無料については、今回のご意見、これまでにいただいているご意見などと合わせて、施設建設費用やランニングコストも新たにかかることも鑑みながら検討をまいります。

Q8：無料の団体が8市とあるが、どこの市町村が無料としているのか

A8：八王子市・武蔵野市・立川市・調布市・福生市・三鷹市・国分寺市・羽村市の8市です。

#### 【その他のご質問】

Q9：新可燃ゴミ処理施設の規模縮小について具体的内容は。

A9：新可燃ゴミ処理施設の処理量を当初280tで計画し、250tまで縮小した。その後地元の皆様から既存の施設規模までの縮小を求める要望を受け、228t（既設220t）まで縮小することにしました。

Q10：新可燃ゴミ処理施設の規模を縮小する場合、基本設計の変更が必要になるのではないか。

A10：基本設計の内容をもとに地元と協議をして施設規模等の縮小を決定し、その内容を実施設計（詳細設計）に反映しました。基本設計から実施設計に入る際に必要な変更を加えることは可能です。

Q11：施設規模の縮小とは建物などの規模を縮小することではないのか。

A11：焼却炉の規模（処理能力）を縮小することを施設規模の縮小として説明してきています。

Q12：今回の説明会の参加人数が少ない。このようなことでいいのか。

A12：今回ご説明している内容は、平成30年5月15日発行のごみ情報誌エコー（広報の中綴じ）から、広報誌でシリーズ掲載をして周知をしてきたことで、広報でも市民の皆様にご意見を出してくださいとお願いをしてきた内容であります。今回の説明会の内容やいただいた質問・意見などもHPなどで紹介をまいります。

Q13 : 3 市市民会議について、年 2 回の開催でいいのか。

A13 : 平成 30 年 7 月下旬に発足し、第 1 回会議を開催したばかりで、今後 30 年以上にわたって開催していく会議となります。これからどうしていくかを委員の皆様と話し合っていていきます。初年度の開催回数は 2 回としているが、その中で会議の開催回数なども決めていくことになっており、市民委員が必要と考える開催方法で実施してまいります。

Q14 : プラスチックの分別に関する説明会は丁寧に行っていくべきではないか。

A14 : 現在検討している内容について、今後市民の皆様からご意見をいただく場としてパブリックコメントの実施なども検討しています。その後、最終的な方針を決定し、市議会にも諮り承認をいただけるようにしっかり手続きを行ってまいります。

また、議会の承認をいただき、決定した内容については、市民の皆様々に丁寧説明を行う必要があると考えています。中学校区ごとでの説明会の開催や分別ガイドブックなどの啓発物の全戸配布実施に向けて検討を進めております。

Q15 : 施設での組成分析（回収したごみの種類を調査すること）をきちんと行ってほしい

A15 : 実施が義務付けられており（廃掃法施行規則第 5 条の規定、）既設ごみ処理施設では、規定に基づいて組成分析を定期的に行っており、これからも適切に実施してまいります。

Q16 : プラスチックの回収について現在の集合住宅での回収ボックスが不足するのではと心配している。

A16 : 回収容器が不足し、資源やごみが散乱している場所では、集合住宅の管理会社や家主に適切な管理を指導しています。お困りのことがあればごみゼロ推進課に相談をしてください

Q17 : 公園などごみを回収する容器がなく、不法投棄されるケースも多く苦慮している。

A17 : 不法投棄は犯罪（法律違反）となるため、相談の内容が悪質な場合は警察へ照会するなどの対応をしていますが、ごみゼロ推進課へご相談ください。

なお、不法投棄の現場を発見した場合は、個人で対応した場合に事件につながるケースもありますので、警察や市役所などへの通報をしていただくように市民に周知しています。

Q18 : お酒の容器の紙パック製で、中がプラスチックのものがある。この処理方法は。

A18 : 紙パックで中に銀紙が貼られているものを含め、可燃ごみとして排出していただいています。また最近、紙パックにプラスチックの注ぎ口がついているものもありますが、プラスチック部分を切り取っていただくようお願いしています。

【その他のご意見】

○他市からごみが来ることに對してとても心配。環境が汚されると心配している。

○新可燃ごみ処理施設の施設規模の縮小は広域化が前提となっている。単独で処理すれば施設規模をもっと縮小できるのではないか。すでに工事を行っていて、ここにきて施設規模縮小のため、プラスチックの分別やごみ減量と言われることに疑問を感じる。

○ごみ処理広域化について一定の理解を得て進めているとしているが、今もなお、反対している市民もいる。

○市民への啓発が重要と考えている。プラスチックがもたらす環境への影響なども含めて市民にしっかり啓発をしてもらいたい。

○紙パックなどの資源化については、メーカーは儲け主義のため市がもっと声を上げてほしい。国に訴えてほしい。

○ペットボトルやトレイの回収が行政回収を含めて増加している。店頭回収を増やしていくことも重要であり、その手段として有料化もその一つと考える。

○選別しているところを見学できると市民の意識も変わると思う。新しく建設する施設では市民が簡単に見学できるように検討してほしい